

# 特急寝台列車 北斗星

## ED79形・EF510形電気機関車

### 共通組み立て説明書

#### 注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

#### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の汚物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

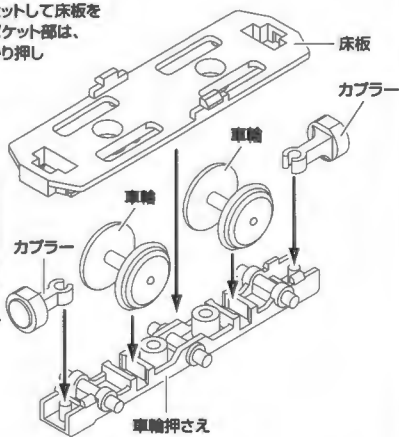
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

### 機関車用シャーシの組立て

#### 1 〈シャーシの組立〉

●車輪押さえに、車輪をセットして床板を合わせます。カプラーポケット部は、パチンとなるまでしっかり押し込んでください。

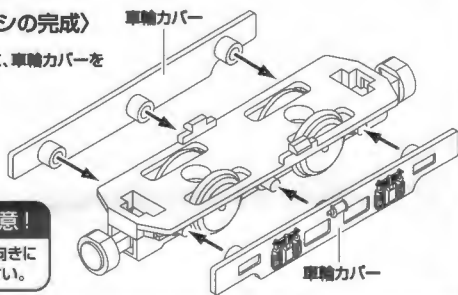


●カプラーのマグネットには極性(S・N)があります。磁束を組むときは、向きに気をつけてください。

カプラーの向き  
平らな面を上

#### 2 〈シャーシの完成〉

●シャーシ側面に、車輪カプラーを取り付けます。



向きに注意!  
車輪カプラーの向きに注意してください。

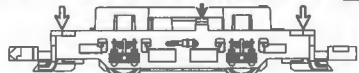
●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビージャパンなどでお買い求めください。

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット①-機関車用」を使用します。



通常色(黒)と、グレーがあります。

●床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

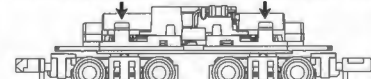
●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。  
スノープロウは装着可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

●EF200、EF210、DD63などでは、車体長が長いためカプラーの首振りが充分にできません。  
直通運転や、短小カーブ、8カーブ上では、運転が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット②-電車・気動車用」

もしくは「同 動力ユニット③-路面電車用」を使用します。



●左右4箇所(爪)で、車体と固定します。  
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

※イラストは「動力ユニット②-電車・気動車用」です。「動力ユニット③-路面電車用」には前後のカプラーはありません。  
●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。  
●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。  
(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「トレインショーティ専用・走行台車④」を使用します。

●台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。  
取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。  
●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。

●旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

●台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

●スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を取り取ってから装着してください。

●新幹線など車体側にカーブのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください)  
●先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を取り取ってください。



●Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。  
(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)

品番11-103 ポケット用動力ユニット

●EF64、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 165系、485系など

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

●「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを取り取って装着します。

(車両によっては、床板の一部を取り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

- |                                   |                             |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| KATO:11-401 PS14:直線パンタグラフ         | グリーンマックス:80-2:PS13:直線パンタグラフ |
| KATO:11-403 PS22:直線・下伸交差形パンタグラフ   | グリーンマックス:80-3:PT42:直線パンタグラフ |
| KATO:11-404, 11-420 PS16:直線パンタグラフ | グリーンマックス:80-5:PT43:直線パンタグラフ |
| ※11-420は、直線6が4箇所の屋根に対応します。        | クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ |

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社パンタグラフを取り付けることができます。

●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(無い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。  
●動力ユニットの装着には、車両によっては車体側面の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

## 車体の組立て

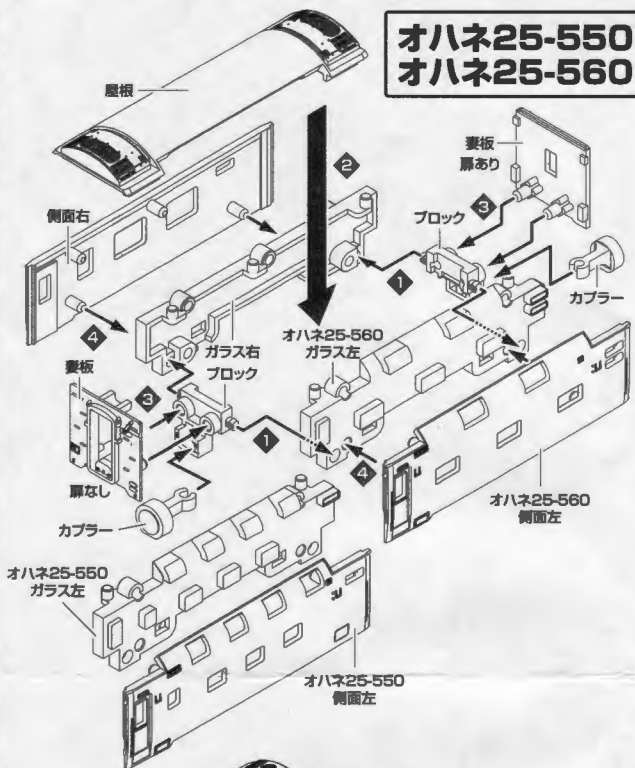
- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
- ③妻板を取り付けます。(緩急車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのために合わせて車体をかぶせませす。(中間車は完成です。)
- ⑥緩急車は後面を取り付けて完成です。
- ⑦カブラーを最後にブロックのピンに取り付けます。



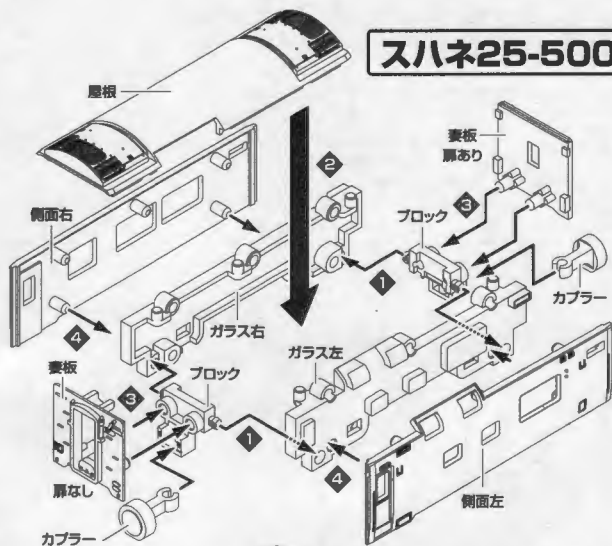
\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。後面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

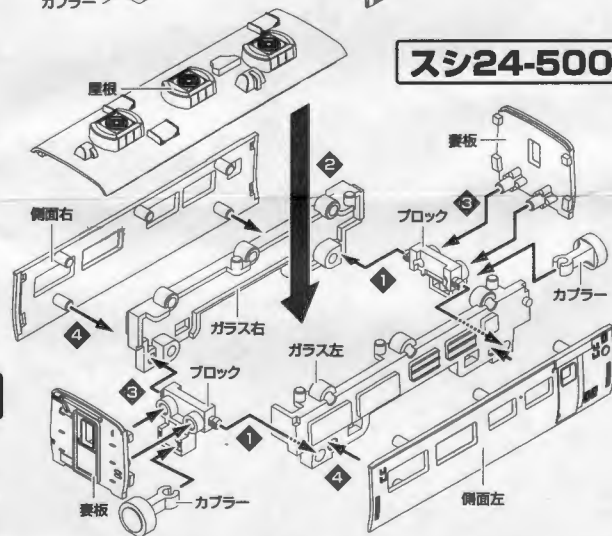
### オハネ25-550 オハネ25-560



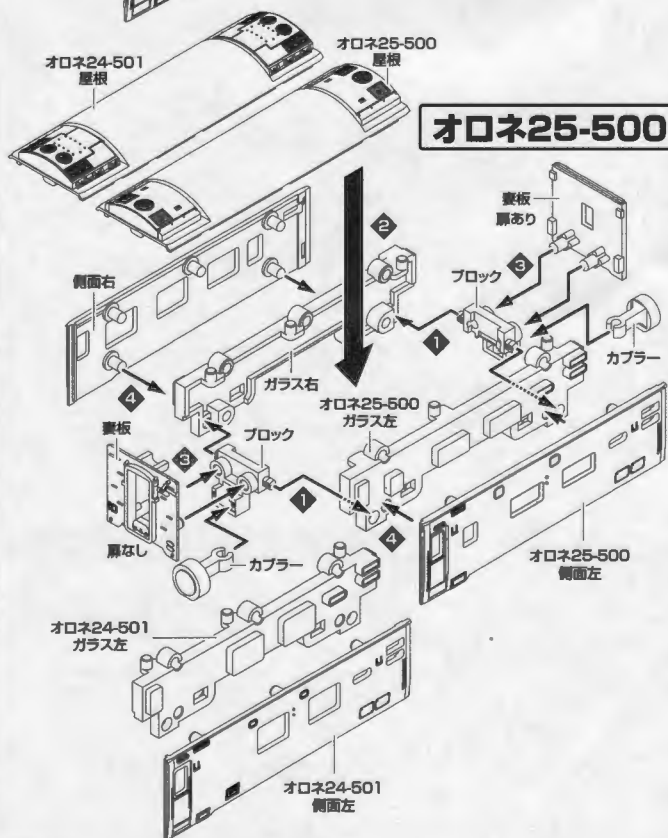
### スハネ25-500



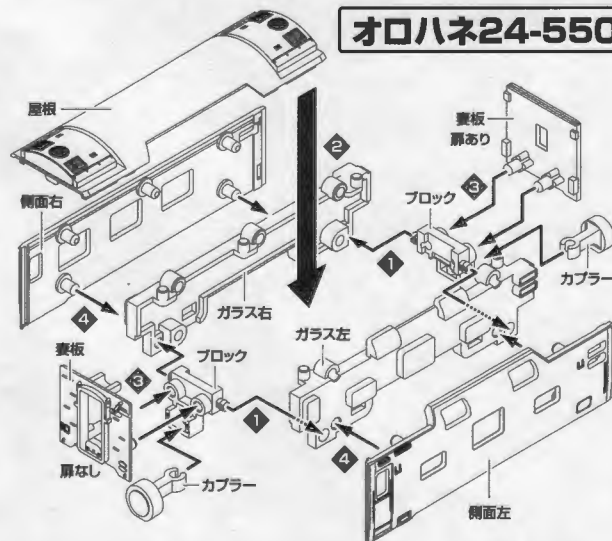
### スシ24-500



### オロネ25-500



### オロハネ24-550



**ステッカーの貼付け位置**

\*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。  
商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
(写物のお取り扱いには、充分にご注意ください。配線の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

**EF79**

ヘッドマーク



車体番号  
ED 797



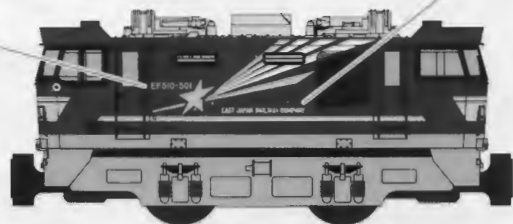
コーポレートロゴ  
EAST JAPAN RAILWAY COMPANY

**EF510-500**

ヘッドマーク



車体番号  
EF510-501



**オハネ25-560**

エンブレム



(反対側)



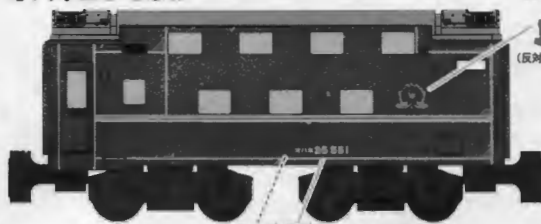
車体番号 オハネ25 561

**オハネ25-550**

エンブレム



(反対側同じ位置)



車体番号 オハネ25 551

**スハネ25-500**

エンブレム

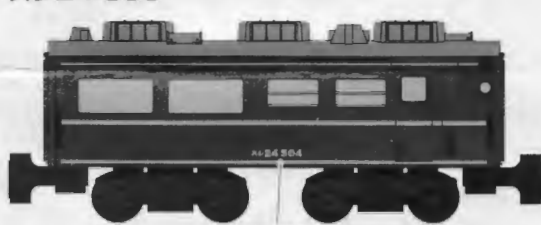


(反対側)



車体番号 スハネ25 503 (反対側同じ位置)

**スシ24-500**



車体番号 スシ24 504 (反対側同じ位置)

**オロネ25-500**



車体番号 オロネ25 504 (反対側同じ位置)

**オロハネ24-550**



車体番号 オロハネ24 551 (反対側同じ位置)

**実車の編成例**

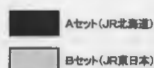
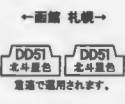
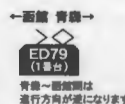
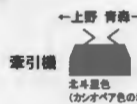
\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\*記載されている編成の一部車両は再編できない場合があります。あらかじめご了承ください。

\*2008年3月15日からの編成。  
1~6号車はJR北海道の所属。7~11号車・電源車はJR東日本の所属。

**特急寝台列車 北斗星**

← 上野

札幌 →



1号車 オハネフ 25	2号車 オハネフ 25	3号車 オハネ 25-560	4号車 オハネ 25-560	5号車 オハネ 25-550	6号車 スハネ 25-500	7号車 スシ 24-500	8号車 オロハネ 24-550	9号車 オハネフ 25	10号車 オハネフ 25	11号車 オハネフ 25	電源・荷物車 カニ 24
[国産タイプ]		[国産タイプ]		[国産タイプ]		[国産タイプ]		[国産タイプ]		[国産タイプ]	
*2011年2月7日付、オハネ25-560仕様。		*2011年2月7日付、オハネ25-560仕様。		*2011年2月7日付、オハネ25-550仕様。		*2011年2月7日付、スシ24-500仕様。		*2011年2月7日付、オハネフ25仕様。		*2011年2月7日付、オハネフ25仕様。	

\*狭: 喫煙車、Bコ: Bコンパートメント (B寝台4人用個室)、B' : B寝台、B2: デュエット (B寝台1人用個室)、B1: ソロ (B寝台1人用個室)、L: ロビーカー、A2: ツインデラックス (A寝台2人用個室)、SA1: ロイヤル (A寝台1人用個室)

\*青森～函館間は編成が逆向きになります。

\*2008年3月15日～2012年3月17日は、青森駅工事に伴って編成全体の向きが入れ替わっていました。

\*乗降車の向きは上野側に揃います。  
(食堂車の乗降扉は札幌側)

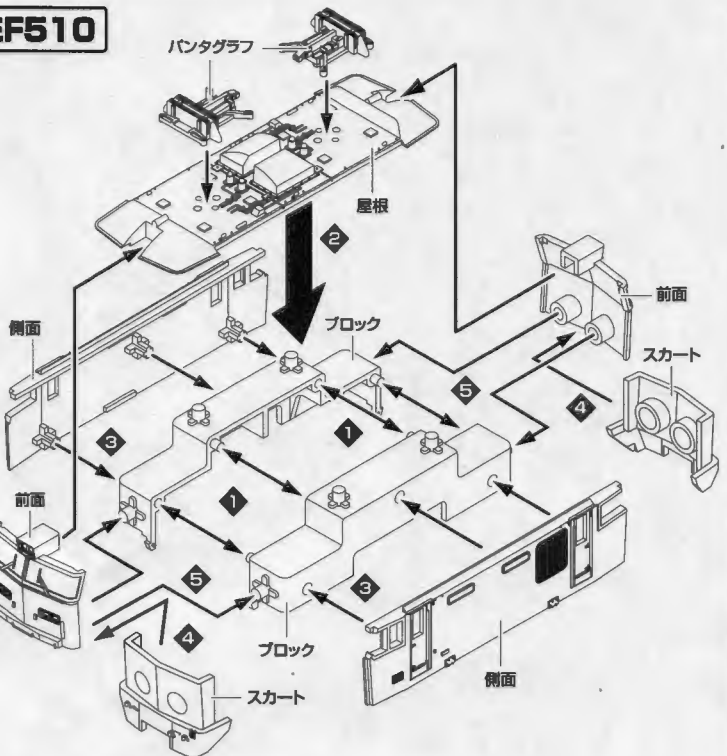
### 機関車用車体の組立て

# EF510

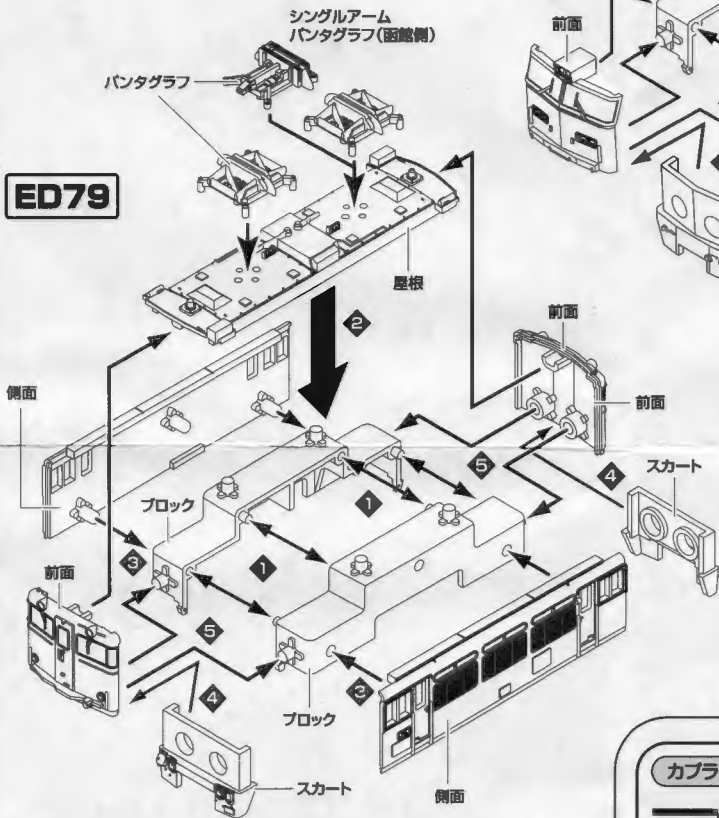
- ①左右のブロックを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。  
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。



# ED79



### カプラーの取付け方

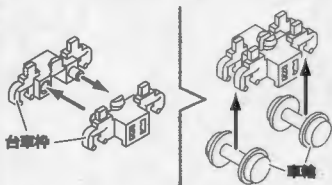


### 24系・北斗星用シャーシの組立て

#### 1 <台車の組立>

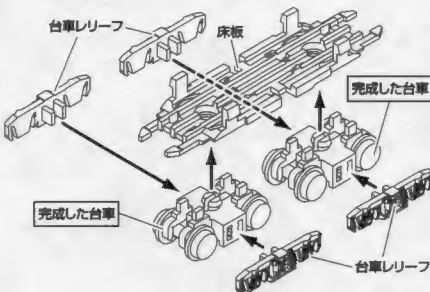
\*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

\*前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

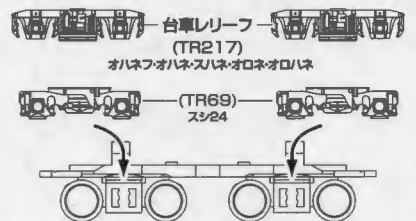


#### 2 <シャーシの完成>

\*出来上がった台車の5箇所のカギを床板に通します。  
\*台車レリーフを取り付けます。



### 台車レリーフの向きに注意。



# 特急寝台列車 北斗星

## オハネフ25・カニ24

### 共通組み立て説明書

#### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

#### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 パンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

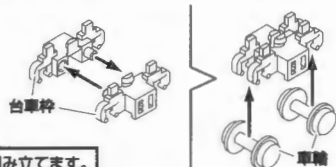
《商品・修理品送付先》 パンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

#### シャーシの組立て

##### 1 〈台車の組立〉

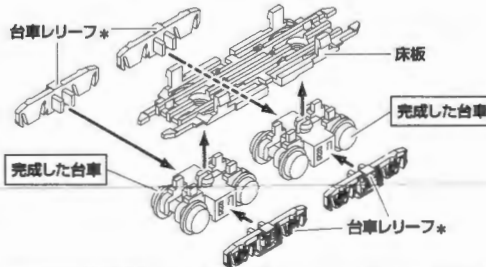
\*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。



\*前後2組の台車を、それぞれ組み立てます。

##### 2 〈シャーシの完成〉

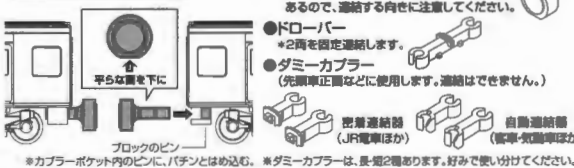
\*出来上がった台車の5箇所のツメを床板に通します。  
\*台車レリーフを取り付けます。



#### 台車レリーフの向きに注意。



#### カプラーの取付け方



- マグネットカプラー  
\*磁石で連絡・開散ができます。磁性(S-N)があるため、連絡する向きに注意してください。
- ドローパー  
\*2両を固定連絡します。
- ダミーカプラー  
(先頭車正面などに使用します。連絡はできません。)

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

\*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

\*トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

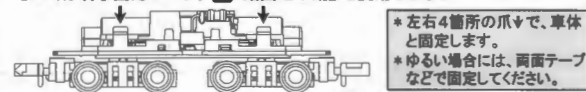
- 「トレインショーティ専用・動力ユニット①」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。



- \*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- \*スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの滑に、爪をしっかりと掛けてください。)
- \*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、種小カブ、8カブ上では、連絡が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット②」・電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット④」・路面電車用」を使用します。



- \*左右4箇所(黒)の爪で、車体と固定します。
- \*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「トレインショーティ専用・走行台車③」を使用します。
- \*台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- \*取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広くて調整してください。
- \*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- \*旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- \*台車に取り付けた「台車レリーフ」が発行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- \*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- \*新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- \*SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- \*先頭車でスカートとタミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。



- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- \*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- \*Nゲージにおける使用方法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- \*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

### ■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)	*EF640、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
品番11-103 ポケットライン用動力ユニット	
*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。	
②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)	
品番11-105 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ	通勤電車①コイルパネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
品番11-106 急行電車①: 空気パネ台車タイプ	急行電車①空気パネ台車タイプ DT32タイプ 165系など 485系など
品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ	通勤電車②ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ 2E31系など
品番11-104 チビ客車用動力ユニット	
*「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)	
③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)	
品番11-099 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ	
品番11-098 急行電車①: 空気パネ台車タイプ	
品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ	

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

- \*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14:直造パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22:直造・下降変形パンタグラフ
- KATO: 11-404、11-420 PS16:直造パンタグラフ
- \*11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- グリーンマックス: 80-2:PS13:直造パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3:PT42:直造パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5:PT43:直造パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C:シングルアームパンタグラフ

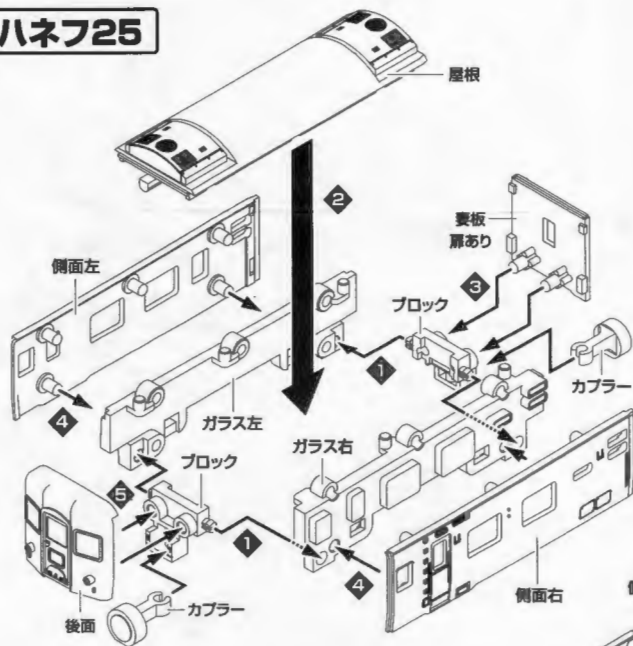
このほか、取り付けピンが2本方式の、各社パンタグラフを取り付けることができます。

- \*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(無い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- \*動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。後面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

## オハネフ25



## 車体の組立て

①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。

\*ブロックの上下の向きに注意して、バチンと奥まではめ込んでください。



②屋根を取り付けます。

③裏板を取り付けます。

(緩急車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)

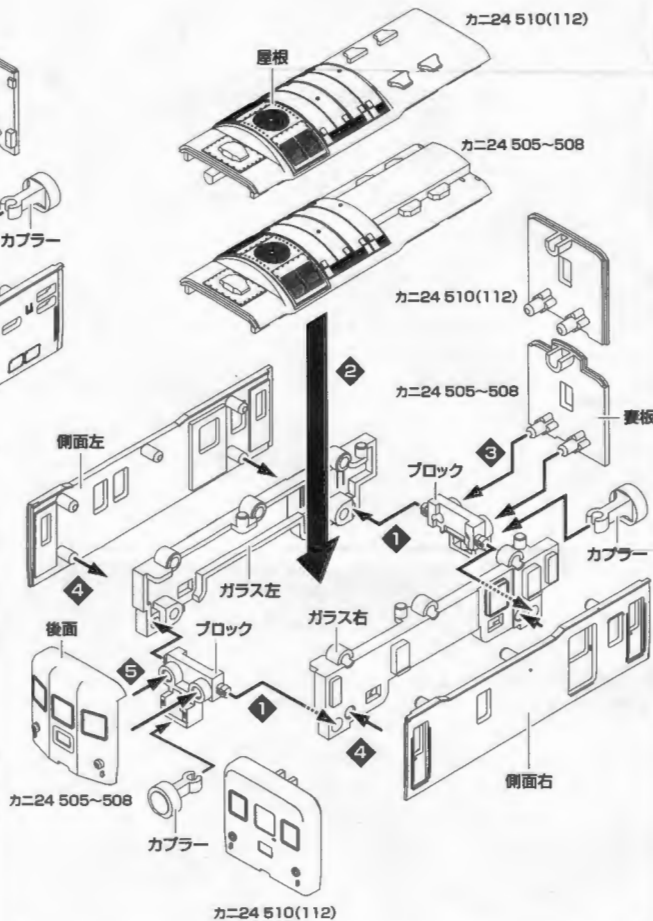
④左右の側面を取り付けます。

⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。(中間車は完成です。)

⑥緩急車は後面を取り付けて完成です。

⑦カブラーを最後にブロックのピンに取り付けます。

## カニ24-500



## ステッカーの貼付け位置

\*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

トレインマーク



オハネフ25

トレインマーク



カニ24-500

## オハネフ25



車体番号  
オハネフ252

## カニ24-500



車体番号  
n=24505

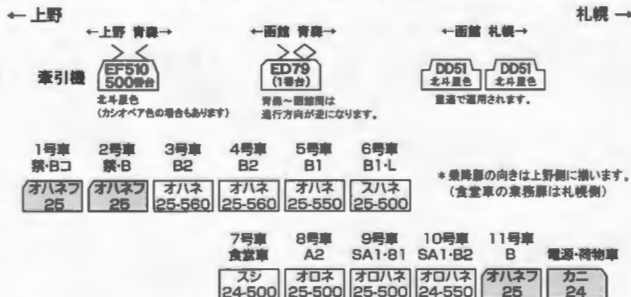
\*反対側面も同様にステッカーを貼ります。

## 突車の編成例

\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 特急寝台列車 北斗星

\*2008年3月15日からの編成。  
1~6号車はJR北海道の所属。7~11号車・電源車はJR東日本の所属。



\*乗・積降車、Bコ:Bコンパートメント(B寝台4人用個室)、B:B寝台、B2:デュエット(B寝台1人用個室)、B1:ソロ(B寝台1人用個室)、L:ロビーカー、A2:ツインデラックス(A寝台2人用個室)、SA1:ロイヤル(A寝台1人用個室)

\*青森~函館間は編成が逆向きになります。

\*2006年3月15日~2012年3月17日は、青森駅工事に伴って編成全体の向きが入れ替わっていました。

### 車体番号 EF510-500

EF510-501	EF510-502	EF510-503	EF510-504
EF510-505	EF510-506	EF510-507	EF510-508
EF510-509	EF510-510	EF510-511	EF510-512
EF510-513	EF510-514	EF510-515	EF510-516
EF510-517	EF510-518	EF510-519	EF510-520
EF510-521	EF510-522	EF510-523	EF510-524
EF510-525	EF510-526	EF510-527	EF510-528
EF510-529	EF510-530	EF510-531	EF510-532
EF510-533	EF510-534	EF510-535	EF510-536
EF510-537	EF510-538	EF510-539	EF510-540
EF510-541	EF510-542	EF510-543	EF510-544
EF510-545	EF510-546	EF510-547	EF510-548
EF510-549	EF510-550	EF510-551	EF510-552
EF510-553	EF510-554	EF510-555	EF510-556
EF510-557	EF510-558	EF510-559	EF510-560

### 車体番号 ED79

ED79-1	ED79-2	ED79-3	ED79-4
ED79-5	ED79-6	ED79-7	ED79-8
ED79-9	ED79-10	ED79-11	ED79-12
ED79-13	ED79-14	ED79-15	ED79-16
ED79-17	ED79-18	ED79-19	ED79-20
ED79-21	ED79-22	ED79-23	ED79-24
ED79-25	ED79-26	ED79-27	ED79-28
ED79-29	ED79-30	ED79-31	ED79-32
ED79-33	ED79-34	ED79-35	ED79-36
ED79-37	ED79-38	ED79-39	ED79-40
ED79-41	ED79-42	ED79-43	ED79-44
ED79-45	ED79-46	ED79-47	ED79-48
ED79-49	ED79-50	ED79-51	ED79-52
ED79-53	ED79-54	ED79-55	ED79-56
ED79-57	ED79-58	ED79-59	ED79-60

### ヘッドマーク



### エンブレム



### 車体番号 24系 Oは商品の形状と適合。

#### デュエオ

→+25 501 →+25 502 →+25 503 →+25 504

- →+25 505 ○ →+25 506 ○ →+25 507 ○ →+25 508
- →+25 509 ○ →+25 510 ○ →+25 511 ○ →+25 512

#### ソロ

→+25 513 →+25 514 ○ →+25 515 ○ →+25 516

#### ソロ・ロビーカー

→+25 517 →+25 518 ○ →+25 519 ○ →+25 520

- →+25 521 ○ →+25 522

#### 食堂車・グランシャリオ

○ →+24 501 ○ →+24 502 ○ →+24 503 ○ →+24 504

○ →+24 505 ○ →+24 506 ○ →+24 507 ○ →+24 508

#### ワインデラックス

○ →+25 509 ○ →+25 510 ○ →+25 511 ○ →+25 512

○ →+25 513 ○ →+25 514 ○ →+24 501 ○ →+24 502

#### ロイヤル・デュエオ

○ →+24 509 ○ →+24 510 ○ →+24 511 ○ →+24 512

○ →+24 513 ○ →+24 514 ○ →+24 515 ○ →+24 516

#### コンパートメント

○ →+25 517 ○ →+25 518 ○ →+25 519 ○ →+25 520

○ →+25 521 ○ →+25 522 ○ →+25 523 ○ →+25 524

#### B寝台

○ →+25 525 ○ →+25 526 ○ →+25 527 ○ →+25 528

○ →+25 529 ○ →+25 530 ○ →+25 531 ○ →+25 532

○ →+25 533 ○ →+25 534 ○ →+25 535 ○ →+25 536

○ →+25 537 ○ →+25 538 ○ →+25 539 ○ →+25 540

#### 電源・荷物車

○ →+24 501 ○ →+24 502 ○ →+24 503 ○ →+24 504

○ →+24 505 ○ →+24 506 ○ →+24 507 ○ →+24 508

○ →+24 509 ○ →+24 510 ○ →+24 511 ○ →+24 512

### トレインマーク



### コーポレートロゴ

